

# 平成27年（2015）12月 入域観光客数概況

12月の観光客数は、61万3,600人  
対前年（H26）同月比 +6万4,400人、+11.7%  
～3年連続で暦年の過去最高を更新、初の770万人台～

## 入域状況

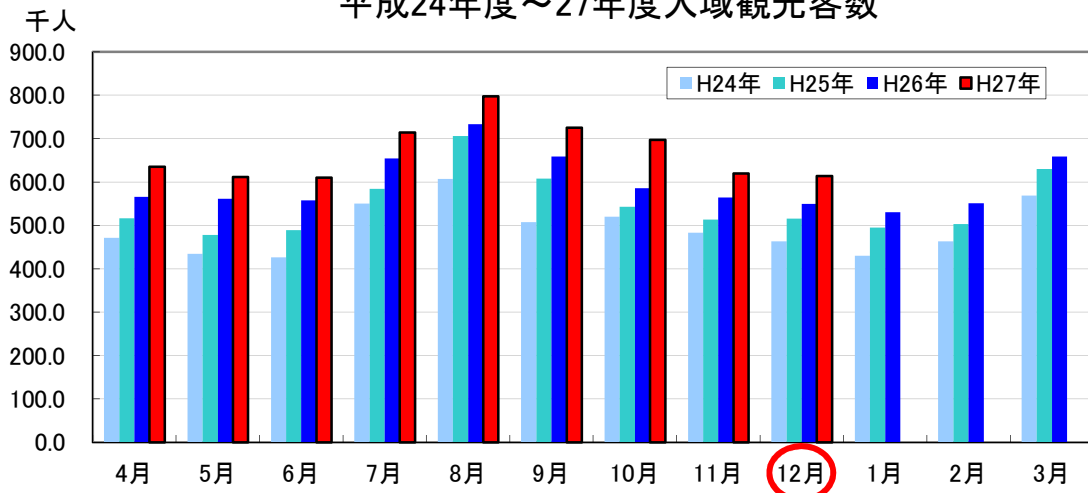
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	485,300 人	484,500 人	+ 800人	+ 0.2%	79.1%
外国客	128,300 人	64,700 人	+ 63,600人	+ 98.3%	20.9%
合計	613,600 人	549,200 人	+ 64,400人	+ 11.7%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	485,300 人	484,500 人	+ 800人	+ 0.2%	80.8%
外国客	115,200 人	64,200 人	+ 51,000人	+ 79.4%	19.2%
合計	600,500 人	548,700 人	+ 51,800人	+ 9.4%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

12月は、年末年始の日並びの関係で短い連休となったことによる影響や、各方面との競合等が懸念されたものの、LCCを中心に好調に推移したことから、前年をやや上回った。

1月以降は、引き続き、各方面との競合が懸念されるものの、各旅行会社による旅行商品の予約状況が好調となっていることや、2月にはLCCによる成田－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

12月は、韓国LCCを中心とした航空路線の拡充や、例年10月までとなっていた定期クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路ともに好調に推移し、2ヶ月連続で前年比約2倍の伸びとなった。

1月以降は、旧正月の旅行需要増に加えて、2月にはLCCによる台北－那覇路線の増便や、主要方面から春節時期の臨時便が予定されていること、クルーズ船の寄港予定が増加すること等から順調に増加する見込み。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	236,800 人	240,200 人	△ 3,400人	△ 1.4%	48.8%
関西方面	98,000 人	93,800 人	+ 4,200人	+ 4.5%	20.2%
福岡方面	64,900 人	60,800 人	+ 4,100人	+ 6.7%	13.4%
名古屋	39,100 人	38,400 人	+ 700人	+ 1.8%	8.1%
その他	46,500 人	51,300 人	△ 4,800人	△ 9.4%	9.6%
合計	485,300 人	484,500 人	+ 800人	+ 0.2%	100.0%

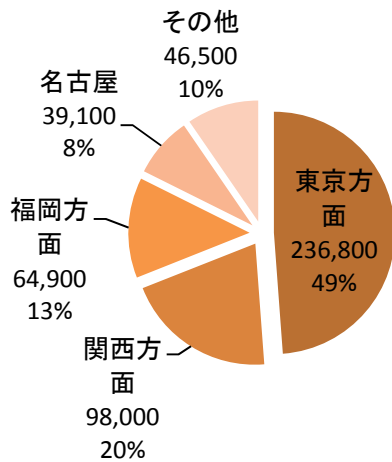
※国内海路客3,700人を含む(鹿児島2,200人、大阪100人、神戸500人、横浜900人)

## 外国客 国籍別入域状況

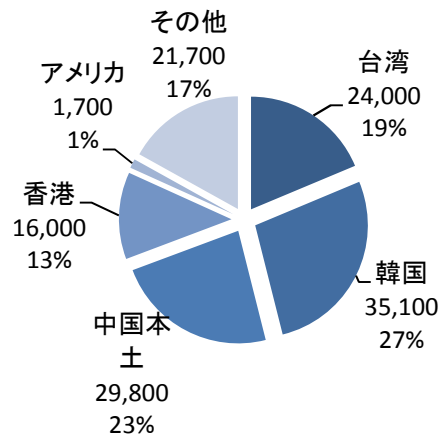
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	24,000 人	24,000 人	16,700 人	+ 7,300人	+43.7%	18.7%
韓国	35,100 人	35,100 人	23,900 人	+ 11,200人	+46.9%	27.4%
中国本土	29,800 人	29,800 人	7,400 人	+ 22,400人	+302.7%	23.2%
香港	16,000 人	16,000 人	10,100 人	+ 5,900人	+58.4%	12.5%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	1,000 人	+ 700人	+70.0%	1.3%
その他	21,700 人	8,600 人	5,600 人	+ 16,100人	+287.5%	16.9%
合計	128,300 人	115,200 人	64,700 人	+ 63,600人	+98.3%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	17,900 人	17,900 人	+7.2%	19.9%	6,100 人	6,100 人	皆増	15.9%
韓国	35,100 人	35,100 人	+46.9%	39.0%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	14,900 人	14,900 人	+101.4%	16.6%	14,900 人	14,900 人	皆増	38.8%
香港	13,700 人	13,700 人	+35.6%	15.2%	2,300 人	2,300 人	皆増	6.0%
アメリカ	1,500 人	1,500 人	+50.0%	1.7%	200 人	200 人	皆増	0.5%
その他	6,800 人	6,800 人	+33.3%	7.6%	14,900 人	1,800 人	+2880.0%	38.8%
合計	89,900 人	89,900 人	+40.0%	100.0%	38,400 人	25,300 人	+7580.0%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

12月は、羽田－那覇路線の提供座席数減に加えて、年末年始の日並びの関係で短い連休となった影響や、各方面との競合等から、前年を下回った。

1月以降は、各方面との競合が懸念されるものの、引き続き、羽田－石垣路線の期間増便や、2月にピーチアビエーションによる成田－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

### 大阪

12月は、ANAによる伊丹－那覇路線の拡充等や、一部LCCを中心に好調に推移したことから、前年を上回った。

1月以降は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が好調となっていること等から、引き続き、好調に推移する見込み。

### 福岡

12月は、LCCによる福岡－那覇路線の期間増便や、一部団体旅行が好調であったこと等から、前年を上回った。

1月以降は、離島を中心とした旅行商品の予約状況が好調となっていること等から、好調に推移する見込み。

### 名古屋

12月は、年末年始が短い連休となった影響や、旅行商品の販売が伸び悩んだものの、年末に宮古島直行チャーター便があったことや、LCCを中心に好調に推移したことから、前年を上回った。

1月以降は、航空会社による旅行商品の販売状況が好調なことや、各旅行会社による旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられること等から、堅調に推移する見込み。

### 台湾

12月は、前年に比べて航空路線の拡充や、例年10月までとなっていた定期クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

1月以降は、2月の春節時期の旅行需要の増に加えて、ピーチアビエーションによる台北－那覇路線の増便や、クルーズ船の寄港が予定されていることから、海路客を中心に順調に増加する見込み。

### 韓国

12月は、前年同月に比べてソウル及び釜山－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、年末年始の旅行需要等により、前年を上回った。

1月以降は、2月の旧正月や春休み等の旅行需要増に加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、離島へのチャーター便が予定されていること等から、順調に増加する見込み。

### 中国本土・北京

12月は、前年同月に比べて航空路線が拡充したことや、旅行商品の販売状況が好調であったこと等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

1月以降は、2月の春節時期の旅行需要増に加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、春節時期の旅行商品の販売状況が好調であること等から、順調に増加する見込み。

### 中国本土・上海

12月は、前年同月に比べて上海－那覇路線の増便等による航空路線の拡充や、上海発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

1月以降は、2月の春節時期の旅行需要増に加えて、個人旅行需要が好調となっていること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

### 香港

12月は、前年同月に比べて航空路線が拡充したことや、香港発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

1月以降は、2月の春節時期の旅行需要増に加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、コスタクルーズ社による香港発クルーズ船の初寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。